

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県東海市 郡上市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	対象	ド透創	救急 へ
人口(人)	施設面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
41,264	15,089	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 来…NICU・未熟児室 調…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

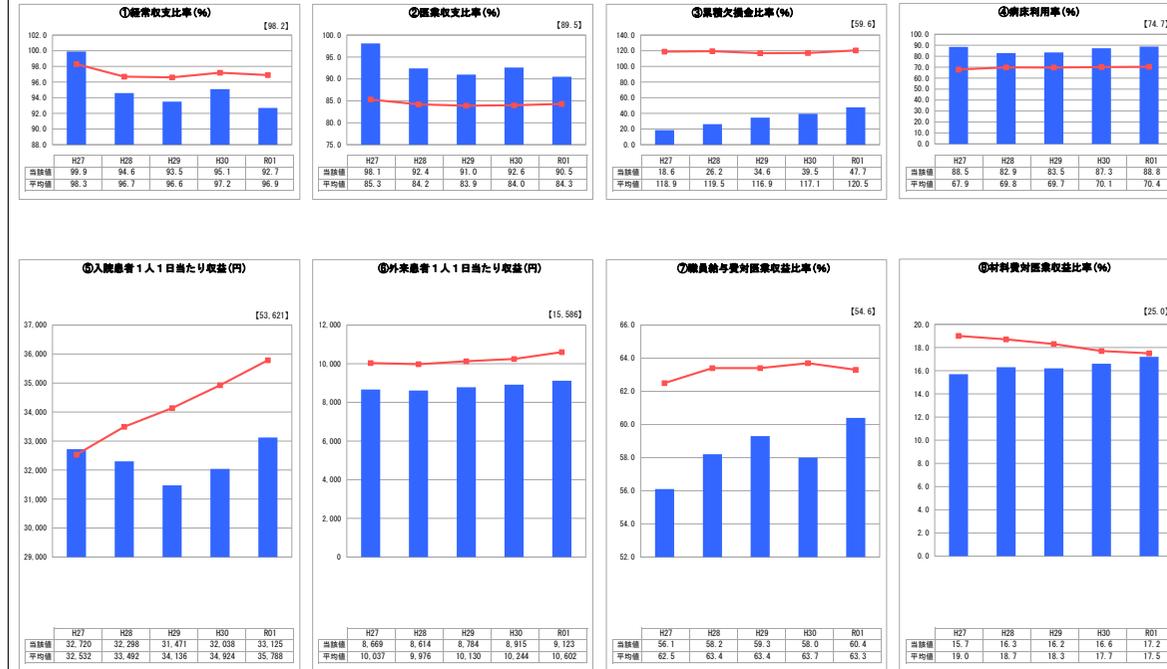
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(補給)
100	50	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	150
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
100	40	140

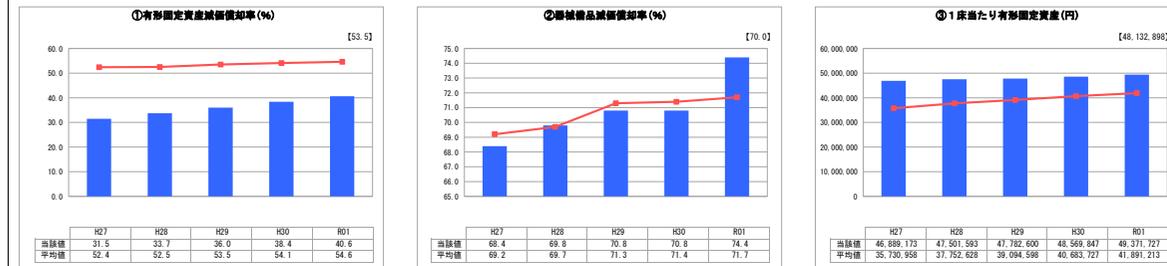
グラフ凡例

- 当院病院値(当院値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主要数値(直近の直置時期)

病院・ネットワーク名	地方独立行政法人化	国営管理移管
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

郡上市における中核的医療機関である立場から二次医療を中心に政策的医療として救急医療、小児医療、周産期医療、高齢化率35%を超える同市における高齢患者等の受け皿としての慢性期医療及び在宅医療等幅広く全般的に担っている。

II 分析値

1. 経営の健全性・効率性について

医療収支比率は90.5%と昨年度と比較して2.1%減少した。これは小児科、外科において常勤医師が各1名増員となり、平成30年度以降非常勤医師にて週2回の外来診療を行っていた専科診療科で常勤医師が確保できたことにより、入院収益外來収益ともに前年度実績を若干上回ったが、それ以上に職員給与費が増加したことが主な要因であるが、依然と類似病院平均や全国平均を以上の数値を維持している。その他の指標については病床利用率が98.8%、材料費対医療収益比率が17.2%と類似病院平均、全国平均と比較して良好な状態であり、職員給与費対医療収益比率が60.4%と類似病院平均より低く抑えられているが、患者1人1日当たり収益は入院・外来共に類似病院平均、全国平均を下回っており、これは平均的に比較的全面等医療技術員の確保が容易かつ資金に余裕があり高度な医療を提供できる都市部の病院、特に全国平均は大規模病院を指すことから高くなる傾向にあり、逆に当該のような僻地にある病院は低くなること大きな要因と考えられる。また経常収支比率は医療収支比率と同様の理由により92.7%と昨年度と比較して2.4%減少し、類似病院平均と全国平均の両方を下回っており、累積欠損金比率は昨年度と比較して8.2%増加したが、47.7%と類似病院平均、全国平均を大きく下回っている。以上から経営の健全性については平均以上の水準が保たれていると言え、今後医療収支比率、経常収支比率が100%を超え累積欠損金が解消されるよう更なる医療報酬制による収益増や経費節減を中心とした経営改善に対する努力が必要であると考える。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は40.6%と類似病院、全国平均共に下回っているが、これはその大半を占める建物が耐用年数29年に対して経過年数が13年と短いためである。器械備品減価償却率は74.4%で全国平均、類似病院平均を上回っているが、平均以上に器械備品の老朽化が進行していると言え今後経営状況等と照らし合わせながら適切な器械備品の更新が必要である。1床あたりの有形固定資産の額は49,371,727円と昨年と比べ801,880円増加しているがこれは空間関連の設備等の更新を行ったことが大きな要因であり、類似病院、全国平均に比べて高く、これが減価償却費として収益的支出の増大等につながることから、その原因について分析し改善に向けた検討が必要である。

全体総括

今後は少子高齢化や人口減少等による医療需要の変化や医療圏における医療提供体制の変化を踏まえた病床数のあり方や経営形態の変更の要否の検討が必要である。また収益が減少しているため医師・看護士確保や、一部病床の地域包括ケア連携への転換、他医療機関との連携強化、診療報酬の請求漏れや未収金対策等による収益確保を行うと共に、各部門の業務の見直しや効率化、職員の適正配置による人事費削減、契約の見直しや入札による競争推進、医薬品等の調達方法の見直し、在庫管理の徹底による経費抑制、医療機器整備計画の策定による機器等の計画的な購入を行い、経営の健全性や効率性の向上のための更なる努力が必要である。

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県東海市 東北西部地域医療センター 国保白鳥病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
41,264	7,393	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

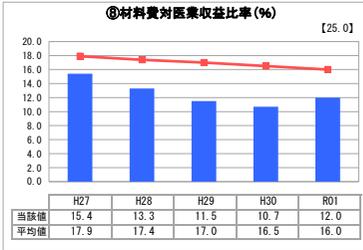
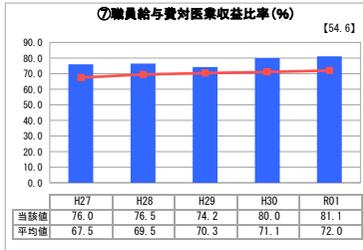
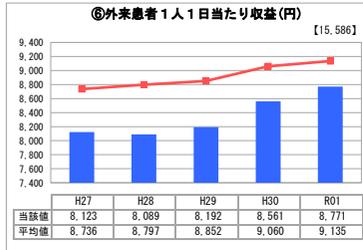
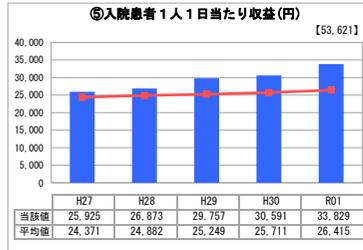
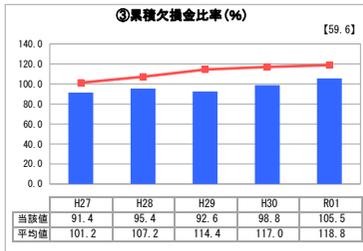
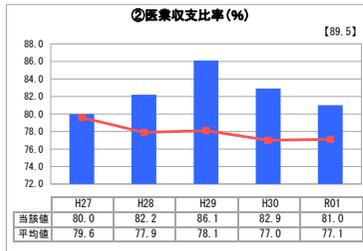
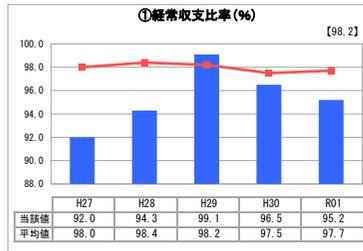
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
60	-	4
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	64
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
41	-	41

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

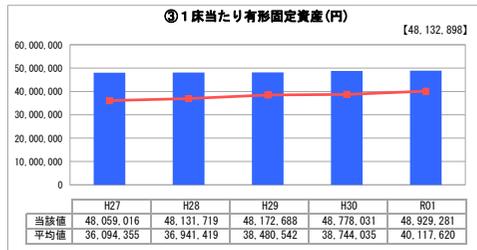
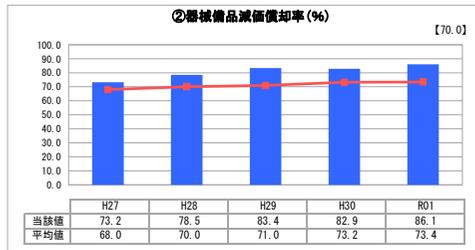
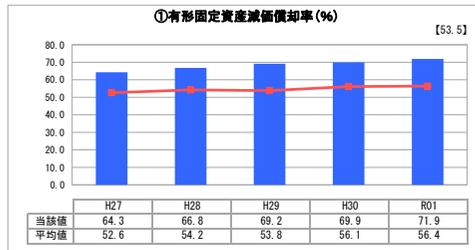
公立病院改革に係る主な取組（直派の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

市北部地域の入院を主とした2次医療を高度医療提供病院との連携及び近隣民間病院との機能分担により担うとともに、当院と市内4診療所及び白川村2診療所、高山市荘川診療所が連携する「東北西部地域医療センター」の基幹病院として、へき地医療支援の中心的な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支率は95.2%となり、前年度比1.3ポイント減少、平均値は2.5ポイント下回る結果となりました。これは、入院・外来患者共に減少したのが主な要因となっています。職員給与と費対医療収益率については、平均を9.1ポイント上回る結果となりました。これは、病床数に見合う職員配置による経費が生じているにもかかわらず、それに相応する診療収入が得られていないことが主な要因となっています。外来患者1人当たりの収益については、平均値を364円下回る結果となりました。これは、診療単価の低い診療科の比率が多いことが主な要因となっています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、機械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が進んでいます。しかし、1床当たり有形固定資産については、平均値を8,811,661円上回っています。今後、耐用年数の到来を見据えた計画的な施設整備を進めていく必要があります。

全体概括

市内の急性期病床は過剰な状態であるため、回復期病床への転換を進める必要があります。入院患者の減少により病床利用率が低下しており近年は6割程度の利用率となっています。よって今後、病床数の見直しを行い職員配置による経費の削減を検討する必要があります。有形固定資産原価償却率、機械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が進んでいるため、耐用年数の到来を見据えた計画的な施設整備を進めていく必要があります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。